

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

## 事業名 特用林産物生産体制強化支援対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 資源活用係 電話番号：058-272-1111 (内3014)

E-mail：[c11545@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11545@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 500千円 (前年度予算額：500千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	500	0	0	0	0	0	0	0	500
要求額	500	0	0	0	0	0	0	0	500
決定額	500	0	0	0	0	0	0	0	500

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・近年、輸入特用林産物の増加による競争の激化、生産者の高齢化等特用林産物産業を取り巻く環境は厳しさを増している。
- ・現在の厳しい状況を打開していくためには、生産の低コスト化、品質向上、流通の合理化、他産地との差別化、消費者に対する消費宣伝活動など様々な取組をしていく必要がある。

### (2) 事業内容

県内生産者で構成され県全体の特用林産事業の発展を目的とする団体が実施する県産特用林産物の販売力の強化、生産・流通の簡素化による高コスト構造の是正、消費者に対する栽培方法や機能性等の情報の積極的な提供、消費者の求める新たな商品の開発等への活動に助成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

【補助率】負担区分 県1/2、団体等1/2

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	500	飛騨・美濃やまっこ産地銘柄共販推進連絡協議会 500千円
合計	500	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3期岐阜県森林づくり基本計画（H29～R3年度）

2 林業及び木材産業の振興

(3) 森林資源の有効利用の促進

特用林産の振興

キノコの需要拡大のため、調理方法等の消費宣伝活動を推進します。

(2) 後年度の財政負担

第3期岐阜県森林づくり基本計画の計画期間である令和3年度まで実施し、終年度中に必要な検討を行う。

(3) 事業主体及びその妥当性

市町村、県内生産者で構成され県全体の特用林産事業の発展を目的とする団体等

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

<b>補助事業名</b>	特用林産物生産体制強化支援対策事業補助金
<b>補助事業者 (団体)</b>	市町村、林業者等の組織する団体、飛騨・美濃やまっこ産地銘柄共販推進連絡協議会 (理由) 市町村、県内生産者で構成され県全体の特用林産事業の発展を目的とする団体等であるため。
<b>補助事業の概要</b>	(目的) ・近年、輸入特用林産物の増加による競争の激化、生産者の高齢化等特用林産物産業を取り巻く環境は厳しさを増している。 ・現在の厳しい状況を打開していくためには、生産の低コスト化、品質向上、流通の合理化、他産地との差別化、消費者に対する消費宣伝活動など様々な取組をしていく必要がある。 (内容) 県内生産者で構成され県全体の特用林産事業の発展を目的とする団体を実施する県産特用林産物の販売力の強化、生産・流通の簡素化による高コスト構造の是正、消費者に対する栽培方法や機能性等の情報の積極的な提供、消費者の求める新たな商品の開発等への活動に助成する。
<b>補助率等</b>	定額・ <b>定率</b> ・その他(例:人件費相当額) (内容) 事業費の1/2、団体等1/2 (理由) 補助事業者が主体性を持ちながら効率的に事業の遂行できる最適な補助率とした。
<b>補助効果</b>	県産特用林産物の販売力強化、消費宣伝活動等の活動補助
<b>終期の設定</b>	終期 R3年度 第3期岐阜県森林づくり基本計画の終了年度

### (事業目標)

岐阜県特用林産の振興方針(キノコ類)に基づき、岐阜県内のキノコ生産量について、令和3年度までに4,508tに増加されるようにする。
---

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H24年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① キノコ生産量(t)	4,210	4,508	4,508

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	600千円	600千円	500千円	(予算額) 500千円	(要求額) 500千円
指標①目標	3,000t	3,000t	3,000t	4,458t	4,508 t
指標①実績	3,530t	4,588t	4,408t	(推計値) 4,400t	(推計値) 4,500 t
指標①達成率	117.7	152.9	147%	(推計値) 98.7%	(推計値) 99.9%

### (前年度の成果)

飛騨・美濃やまっこ産地銘柄共販推進連絡協議会に支援し、県産特用林産物が「安心」「安全」「健康」に優れていることを市場及び、消費者へ普及するためのPR活動をした。

### (今後の課題)

キノコ類の販売価格の下落傾向、生産者の減少が進行する中で、キノコ類を始めとする特用林産物の国際競争力を高め、輸入品との価格差を維持しながら県産特用林産物の着実な消費促進は必要である。県産特用林産物が「安心」「安全」「健康」に優れていることを消費者へ普及するとともに、消費地での販売を促進する必要がある。

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	岐阜県特用林産の振興方針(キノコ類)の「キノコ生産量」の目標値を達成するために、需要拡大の取り組みとして、消費者に対して消費宣伝活動や食育活動などの必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	平成26年度以降、県産きのこ類の生産量は漸増している。とくに生しいたけの生産量は着実に増えており、期待どおりの効果が得られていると言える。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	県内生産者で構成され県全体の特用林産事業の発展を目的とする団体に働きかけ、需要拡大を目的とした、より効果的な活動をする団体を支援することにより、岐阜県の特用林産振興の効率化を図っている。

(事業の見直し検討)

キノコ類の消費量が減少する中、キノコ生産量を増加させるため、県産の県産特産林産物が「安心」「安全」「健康」に優れていることを消費者へ普及する必要がある。これまでにPRの結果、本事業の補助事業者の消費者への普及が進み、市場で高い評価を得ている。

今後は消費者へと新規に消費宣伝活動などを活発的に行う団体を増やすとともに、県内だけでなく県外へも普及をすることで、県内生産者によるキノコを生産量を維持・増加させることが見込まれる。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

**継続**・削減・統合・廃止

県産特産林産物についての情報提供やPRを行い、「安全」「安心」「健康」な商品を提供することにより、安定的な需要の確保と生産者の経営の安定化を図る。